

「日本5減少も最多の33社 革新的トップ100企業・機関」

国際学術・特許情報調査・コンサルティング企業「クラリベイト」は3月13日、技術研究とイノベーションで世界をリードする100の企業・機関を「Top 100 グローバル・イノベーター2025」として公表した。100企業・機関のうち日本からは前年より5減ったものの最多の33企業（前年と同数）が選ばれ、3位（前年3位）本田技研工業、4位（同2位）キヤノン、5位（同4位）トヨタ自動車、6位（同5位）セイコーエプソン、8位（同8位）富士フイルムと高位に日本企業が名を連ねている。

「Top 100 グローバル・イノベーター2025」日本企業：（ ）内数字は前年順位

順位	企業	順位	企業	順位	企業
3(3)	本田技研工業	25(33)	東京エレクトロン	57(65)	TDK
4(2)	キヤノン	26(25)	住友電気工業	58(69)	ニデック
5(4)	トヨタ自動車	31(19)	日立製作所	59(66)	リコー
6(5)	セイコーエプソン	39(39)	デンソー	60(62)	三菱重工業
8(8)	富士フイルム	46(—)	日本電信電話	61(61)	日東電工
13(11)	三菱電機	48(48)	京セラ	63(47)	矢崎総業
14(17)	パナソニックホールディングス	51(59)	キオクシア	65(58)	信越化学工業
17(18)	ソニーグループ	52(41)	富士通	87(79)	小松製作所
21(21)	村田製作所	53(60)	ブラザー工業	71(55)	SCREEN ホールディングス
23(24)	東芝	54(85)	ダイキン工業	73(53)	住友化学
24(9)	ファナック	55(54)	オムロン	88(88)	日本電気

（クラリベイト「Top 100 グローバル・イノベーター 2025」、「同 2024」から作成：—は順位外）

クラリベイトは14年前から毎年「Top 100 グローバル・イノベーター」を公表しているが、1位から100位まで順位付けしたのは前年の2024年から。2回目となる今回は前年同様、韓国のサムスン電子が1位を維持したほか、2位に前年の16位から大きく浮上した中国のテンセントが入ったなど、日本以外のアジア地域の企業の評価も高いのが目を引く。

「Top 100 グローバル・イノベーター2025」国・地域の企業・機関数と過去5年の企業・機関数

国・地域	企業・機関数	最上位企業・機関名（順位）	2024年	2023年	2022年	2021年	2020年
日本	33	本田技研工業（3）	38	38	35	29	32
米国	18	RTX コーポレーション（10）	17	19	18	42	40
台湾	13	TSMC（台湾積体回路製造）（18）	11	11	9	5	4
韓国	8	サムスン電子（1）	8	5	5	5	3
ドイツ	8	シーメンス（15）	7	7	9	3	4
フランス	7	フランス原子力庁（30）	6	7	8	3	5
中国	6	テンセント（2）	5	4	5	4	3
スイス	3	スウォッチグループ（66）	4	3	4	3	3
オランダ	2	フィリップス（38）	3	3	3	2	2
スウェーデン	1	エリクソン（33）	1	1	1	1	1
フィンランド	1	ノキア（83）	0	0	0	1	1
英国	0		0	1	2	1	0
サウジアラビア	0		0	1	1	0	0
カナダ	0		0	1	0	1	1
スペイン	0		0	1	0	0	0
ロシア	0		0	0	0	0	1

（クラリベイト「Top 100 グローバル・イノベーター2025」、同 2024、2023、2022、2021、2020 から作成）

韓国、台湾も高評価

これまでのように日米の企業が過半数を占める状況は今回も変わらない。ただ、近年、目立つのがアジア各国・地域の企業の評価が高まっていることだ。日本は 2022 年に 35 社が選ばれ、18 社と大きく数を減らした米国を抜き 2 年ぶりに最多国となっている。今回も 33 社と 2 位の米国 18 社に大きな差をつけ 4 年連続 1 位を維持した。韓国も 1 位のサムスン電子に続き、LG 化学 7 位（前年 7 位）、LG エレクトロニクス 11 位（同 15 位）、現代自動車 16 位（同 29 位）、SK ハイニックス 19 位（同 40 位）、起亜自動車 20 位（同 26 位）、三星電機 29 位（同順位外）、サムスン SDI 74 位（同 57 位）と、数は 8 社と前年と変わらないものの前年より順位を上げた社が多いのが目を引く。

このほか、台湾が前年より 2 社増え 13 社と日米に次いで多くの企業・機関が選ばれているのが目立つ。5 年前の 2020 年は 4 社だったから、台湾企業が急速に力をつけているのが分かる。半導体チップの製造を他社から受託して請け負う半導体メーカーとして急速に力をつけている台湾積体回路製造（TSMC）18 位（前年 23 位）をはじめとする半導体、エレクトロニクス

トロニクス・コンピューター機器関連企業のほか、台湾で科学技術発展の重要拠点となっている財団法人工業技術研究院（ITRI）が名を連ねている。

高まる中国の影響力

中国も前年より 1 社増えて 6 社が入った。2 位のテンセントのほか華為技術（ファーウェイ）7 位（前年 7 位）、京東方科技集団（BOE テクノロジーグループ）12 位（同 12 位）、アントグループ 77 位（同 52 位）、瑞声科技（AAC テクノロジー）90 位（同 84 位）、寧徳時代新能源科技（CATL）91 位（同順位外）となっている。

「Top 100 グローバル・イノベーター」に過去 14 年間すべて連続して選出された企業が 16 社ある。このうち 9 社が日本、4 社が米国、2 社が韓国で残る 1 社がスウェーデンだ。こうした結果は、日本、米国、韓国が世界のイノベーション大国として技術発展に長期的な役割を果たしていることを示す、とクラリベイトは評価している。さらに 2 位に大きく順位を上げたテンセント、7 位を維持した華為技術（ファーウェイ）と 10 位内に 2 社が入った中国についても、「全体の順位を 2 番目に大きく伸ばした地域であり、影響力の高まりを裏付ける」とみている。さらに米国、日本、欧州といった従来の技術リーダーと比べて世界的に重要な発明の件数は少ないものの、影響力が大きい発明を数多く創出し、イノベーションの主要な発生地となっている。過去 10 年間では確かな知識経済が確立され、技術の進歩に大きく貢献している、と高く評価している。

Top 100グローバル・イノベーター 2025 ランキング

順位	Top 100 グローバル・イノベーター 2025	本社を構える 国／地域	業界	選出年（2012～2025年）	
1	Samsung Electronics	韓国	エレクトロニクス・コンピューター機器	2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	
2	Tencent	中国本土	ソフトウェア、メディア、フィンテック	2020, 2021, 2024, 2025	
3	Honda	日本	自動車	2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	
4	Canon	日本	エレクトロニクス・コンピューター機器	2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2022, 2023, 2024, 2025	
5	Toyota	日本	自動車	2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	
6	Seiko Epson	日本	産業コングロマリット	2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2022, 2023, 2024, 2025	
7	LG Chem	韓国	化学・素材	2022, 2023, 2024, 2025	
8	FUJIFILM	日本	産業コングロマリット	2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	
9	Huawei	中国本土	電気通信	2015, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	
10	RTX	米国	航空宇宙・防衛	2012, 2013, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	
11	LG Electronics	韓国	エレクトロニクス・コンピューター機器	2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	
12	BOE Technology	中国本土	エレクトロニクス・コンピューター機器	2022, 2023, 2024, 2025	
13	Mitsubishi Electric	日本	産業コングロマリット	2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	
14	Panasonic	日本	エレクトロニクス・コンピューター機器	2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	
15	Siemens	ドイツ	産業コングロマリット	2012, 2013, 2014, 2015, 2019, 2022, 2023, 2024, 2025	
16	Hyundai Motor	韓国	自動車	2022, 2023, 2024, 2025	
17	Sony	日本	エレクトロニクス・コンピューター機器	2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	
18	TSMC	台湾	半導体	2014, 2022, 2023, 2024, 2025	
19	SK hynix	韓国	エレクトロニクス・コンピューター機器	2022, 2023, 2024, 2025	
20	Kia	韓国	自動車	2022, 2023, 2024, 2025	
21	Murata Manufacturing	日本	エレクトロニクス・コンピューター機器	2012, 2022, 2023, 2024, 2025	
22	Qualcomm	米国	電気通信	2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	
23	Toshiba	日本	エレクトロニクス・コンピューター機器	2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	

24	Fanuc	日本	産業システム	2012, 2013, 2022, 2023, 2024, 2025	
25	Tokyo Electron	日本	半導体	2015, 2022, 2023, 2024, 2025	
26	Sumitomo Electric	日本	エネルギー・電気	2012, 2014, 2015, 2016, 2017, 2022, 2023, 2024, 2025	
27	General Motors	米国	自動車	2022, 2023, 2024, 2025	👁
28	Foxconn	台湾	エレクトロニクス・コンピューター機器	2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	
29	Samsung Electro-Mechanics	韓国	エレクトロニクス・コンピューター機器	2025	➡]
30	CEA	フランス	政府・学術研究	2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2022, 2023, 2024, 2025	
31	Hitachi	日本	産業コングロマリット	2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	🏆
32	Airbus	フランス	航空宇宙・防衛	2012, 2013, 2014, 2019, 2022, 2023, 2024, 2025	
33	Ericsson	スウェーデン	電気通信	2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	🏆
34	GE Aerospace	米国	航空宇宙・防衛	2025	➡]
35	AUO	台湾	エレクトロニクス・コンピューター機器	2022, 2023, 2024, 2025	
36	Dow	米国	化学・素材	2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	🏆
37	MediaTek	台湾	半導体	2015, 2016, 2017, 2022, 2023, 2024, 2025	
38	Philips	オランダ	医療・バイオテクノロジー	2012, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	
39	DENSO	日本	自動車	2012, 2013, 2015, 2022, 2023, 2024, 2025	
40	Bosch	ドイツ	産業コングロマリット	2015, 2022, 2023, 2024, 2025	
41	Realtek Semiconductor	台湾	半導体	2022, 2023, 2024, 2025	
42	Safran	フランス	航空宇宙・防衛	2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2022, 2023, 2024, 2025	
43	Applied Materials	米国	半導体	2012, 2023, 2024, 2025	
44	STMicroelectronics	スイス	半導体	2013, 2014, 2015, 2022, 2023, 2024, 2025	
45	Wistron	台湾	エレクトロニクス・コンピューター機器	2022, 2023, 2024, 2025	
46	NTT	日本	電気通信	2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2025	🔗]
47	ITRI	台湾	政府・学術研究	2015, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	
48	Kyocera	日本	エレクトロニクス・コンピューター機器	2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2022, 2023, 2024, 2025	

49	Volkswagen	ドイツ	自動車	2022, 2023, 2024, 2025	
50	Siemens Energy	ドイツ	エネルギー・電気	2025	→]
51	Kioxia	日本	半導体	2022, 2023, 2024, 2025	
52	Fujitsu	日本	エレクトロニクス・コンピューター機器	2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	🏆
53	Brother Industries	日本	エレクトロニクス・コンピューター機器	2012, 2013, 2014, 2015, 2022, 2023, 2024, 2025	
54	Daiikin Industries	日本	産業システム	2012, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2024, 2025	
55	Omron	日本	エレクトロニクス・コンピューター機器	2014, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	
56	Philip Morris International	米国	消費財・食品	2022, 2023, 2024, 2025	👁
57	TDK	日本	エレクトロニクス・コンピューター機器	2013, 2014, 2015, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	
58	Nidec	日本	エネルギー・電気	2023, 2024, 2025	
59	Ricoh	日本	エレクトロニクス・コンピューター機器	2013, 2015, 2022, 2023, 2024, 2025	
60	Mitsubishi Heavy Industries	日本	産業システム	2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	
61	Nitto Denko	日本	化学・素材	2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2022, 2023, 2024, 2025	
62	Infineon Technologies	ドイツ	半導体	2014, 2022, 2023, 2024, 2025	
63	Yazaki	日本	自動車	2016, 2017, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	
64	Boeing	米国	航空宇宙・防衛	2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	🏆
65	Shin-Etsu Chemical	日本	化学・素材	2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	🏆
66	Swatch Group	スイス	消費財・食品	2022, 2023, 2024, 2025	
67	Alphabet	米国	ソフトウェア、メディア、フィンテック	2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2023, 2024, 2025	
68	BASF	ドイツ	化学・素材	2012, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	
69	Johnson & Johnson	米国	製薬	2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	
70	Deere & Co	米国	産業システム	2013, 2022, 2023, 2024, 2025	
71	Screen	日本	エレクトロニクス・コンピューター機器	2022, 2023, 2024, 2025	
72	Micron Technology	米国	半導体	2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2025	↪]
73	Sumitomo Chemical	日本	化学・素材	2022, 2023, 2024, 2025	
74	Samsung SDI	韓国	エレクトロニクス・コンピューター機器	2022, 2023, 2024, 2025	

75	Otis	米国	産業システム	2023, 2024, 2025	
76	ABB	スイス	産業システム	2012, 2014, 2015, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	
77	Ant Group	中国本土	ソフトウェア、メディア、フィンテック	2022, 2023, 2024, 2025	
78	Coretronic	台湾	エレクトロニクス・コンピューター機器	2024, 2025	👁
79	ZEISS	ドイツ	産業システム	2022, 2024, 2025	
80	Nanya Technology	台湾	半導体	2023, 2024, 2025	
81	Evonik	ドイツ	化学・素材	2022, 2023, 2024, 2025	
82	Halliburton	米国	エネルギー・電気	2022, 2023, 2024, 2025	
83	Nokia	フィンランド	電気通信	2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2025	🔗
84	Honeywell	米国	産業システム	2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	🏆
85	Quanta Computer	台湾	エレクトロニクス・コンピューター機器	2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2025	🔗
86	Delta Electronics	台湾	エレクトロニクス・コンピューター機器	2022, 2023, 2024, 2025	
87	Komatsu	日本	産業システム	2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	
88	NEC	日本	エレクトロニクス・コンピューター機器	2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	🏆
89	Thales	フランス	航空宇宙・防衛	2013, 2014, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2023, 2024, 2025	
90	AAC Technologies	中国本土	エレクトロニクス・コンピューター機器	2023, 2024, 2025	👁
91	CATL	中国本土	自動車	2025	➡️
92	TE Connectivity	米国	エレクトロニクス・コンピューター機器	2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2022, 2025	🔗
93	Caterpillar	米国	産業システム	2025	👁 ➡️
94	CNRS	フランス	政府・学術研究	2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2022, 2023, 2024, 2025	
95	ASML	オランダ	半導体	2012, 2022, 2023, 2024, 2025	
96	Asus	台湾	エレクトロニクス・コンピューター機器	2021, 2025	🔗
97	Winbond	台湾	半導体	2023, 2024, 2025	👁
98	Michelin	フランス	自動車	2012, 2013, 2014, 2022, 2023, 2024, 2025	
99	FORVIA	フランス	自動車	2025	➡️
100	Emerson	米国	産業システム	2012, 2013, 2014, 2015, 2016, 2017, 2018, 2019, 2020, 2021, 2023, 2024, 2025	

🏆 14年連続 Top 100 グローバル・イノベーター

👁 Innovator to Watch (2020 ~ 2024 年)

🔗 再選出

➡️ 初選出

(クラリベイト「Top 100 グローバル・イノベーター 2025 ランキング」から)

特許の価値厳密多面的に評価

革新的知識を提供する世界的リーディング企業と評価された「Top 100 グローバル・イノベーター」はどのように選出されるのか。2000 年以降に 500 件以上の特許を出願し、かつ

2019 年から 2023 年の 5 年間で 100 以上の特許を登録したという二つの条件を満たす約 3,000 の企業・機関をまず絞り込む。さらに、他者のアイデアに与えた影響として算出した発明の技術的リーダーシップレベル（影響力）、有効で斬新なアイデアとして生み出された経済的資産レベル（成功率）、発明に投じられた金銭的・地理的投資レベル（地理的投資）、技術発展のレベル（希少性）という四つの指標で、企業・機関が保有する特許の価値を厳密に評価している。

加えてサステナビリティ（持続可能性）、ウェルビーイング、モビリティ（流動性）、コネクティビティ（連結性）、オートメーション（自動化）も評価に当たって重要視し、Top 100 グローバル・イノベーターにふさわしい企業・機関を特定している。クラリベイトによると、選ばれた 100 企業・機関はイノベーションをビジネス戦略の中心に据えており、科学、工学、製品設計、問題解決に対して平均して収益の 8.8%を投資している。

保有する膨大な特許に関するデータベースが基になっているこうしたクラリベイトの評価法は、財政的な成長と収益性を重視して革新的企業・機関とみなしている従来の評価法とは異なる。例えば、18 企業と日本に次いで多くの企業が選ばれた米国は、世界最大の検索エンジンサービスを提供するグーグルなどの持ち株会社「アルファベット」は 67 位に選ばれている。しかし、デジタル変革をいち早く実現して社会にとってなくてはならないサービスや商品を提供し、飛び抜けて高い時価総額も誇る米国の 5 大 IT 企業「GAFAM」（アルファベット、アマゾン、メタ、アップル、マイクロソフト）のうち「アルファベット」を除く 4 社は「Top 100 グローバル・イノベーター」に選ばれていない。

アマゾン、メタ（旧称フェイスブック）、アップル、マイクロソフトが外れた理由について、クラリベイト・ジャパンの知財情報担当者は次のように説明している。

「ソフトウェアの特許はハードウェアと比較すると安定的な広い特許は取りにくい傾向がある。また、プラットフォーマーは、その市場維持を自らの規模や広告効果などで行い、特許による保護が中心にはならないのではないかと。ブランドやノウハウ（営業秘密）によって知的財産を守るイメージに近いと思う。相対的に、自らハードウェアを開発して販売する業態を含む企業と比較すると GAFAM のようなプラットフォーマーは特許による知的財産の形成、保護の必然性は高くない。例えば iPhone、Echo など GAFAM の最終製品について、その主要構成部品のサプライヤーは、自らパーツを開発して製造販売する企業として Top100 に多数ランクインしている」

少ない製薬、医療・バイオ関連企業

産業分野別にみるとどのような企業・機関が選ばれているのか。最も多いのは「エレクトロニクス」

「エレクトロニクス・コンピューター機器」の28で昨年よりさらに増えている。続いて多い「半導体」12、「産業システム」11は前年より減り、「自動車」11は前年より増えた。以下「化学素材」7（前年より減少）、「航空宇宙・防衛」6（同増加）、「産業コングロマリット」6（同変化なし）、「電気通信」5（同増加）、「エネルギー・電気」3、「ソフトウェア、メディア、フィンテック」3、「政府・学術研究」3（同いずれも変化なし）、「消費財・食品」2、「製薬」1（同いずれも減少）、「医療・バイオテクノロジー」（同変化なし）となっている。「エレクトロ・コンピューター機器」、「半導体」、「産業システム」、「自動車」といった工学系関連企業と、「製薬」、「医療・バイオテクノロジー」といったバイオ系企業の実績・評価の大きな違いが目立つ分布となっている。

Top 100グローバル・イノベーターリストからのインサイト

業界別 Top 100 グローバル・イノベーター 2025 選出数



(クラリベイト「Top 100 グローバル・イノベーター 2025」から)

こうした極端な差が出ている理由は何か。クラリベイト・ジャパンの知財情報担当者の説明は次のようだ。「医療やバイオの領域では、エレクトロニクスの領域と比較して、1件1件の特許の範囲や価値が大きい傾向がある。例えばエレクトロニクスの領域では、標準化

する際など多くの企業の多くの特許が関係し、それを相互に利用したり、複数の関連ある特許をクロスライセンスしたりする場合も多く、1件の特許のみでの保護は不可能。そのため、必然的に多くの新たな特許が生まれ、その大きな特許ポートフォリオを維持管理する必要が出てくる」

さらに「Top100 グローバル・イノベーター」全体の選出結果については、次のような特徴があることも明らかにしている。「クラリベイト社独自の特許データベースを基に世界の発明データを体系的かつ経験に基づいて分析することで導いている。そのため、純粋なイノベーターといえる企業を選ぶというよりは、イノベーションに貢献する知財活動が活発である企業を選出しているような傾向が出る」

日文 小岩井忠道（科学記者）

関連サイト

クラリベイト「[Top 100 グローバル・イノベーター 2025 レポート](#)」（要登録）

関連記事

2024年03月12日 [全球创新机构百强中日本企业占38家，其中6家排名前十](#)

2023年03月06日 [世界百强创新企业，日本38家上榜创历史最多，企业专利获得评价](#)

2022年03月17日 [科睿唯安发布“2022年全球百强创新机构”榜单，日本35家企业上榜
时隔2年重登榜首](#)

2021年03月02日 [科睿唯安发布“全球百强创新机构”榜单：29家日本企业上榜，日美合计占70%](#)

2020年02月28日 [最具创新力企业 Top100：日美继续领先，中国仍仅3家入围](#)